



1 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和8年3月に公表した「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第3回）」の概要は、次の通り。

令和7砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：178万7000トン（前年度比0.1%増）

総供給量：179万4000トン（同1.1%減）

【加糖調製品】

消費量および供給量：34万7000トン（同4.4%減）

【異性化糖】

消費量および供給量：78万トン（同1.8%増）

（1）砂糖の消費量

令和7砂糖年度（10月～翌9月）の砂糖の消費量は、178万7000トン（前年度比0.1%増）と見通している（表1）。内訳を見ると、増減の要因として引き続きインバウンド需要が堅調と見込まれる一方で、物価高、低甘味嗜好、人口減少などの影響

による減少が想定される。直近の消費動向やこれらの要因を勘案し、分蜜糖の消費量は175万トン（同0.2%増）と見通している。含蜜糖の消費量は近年の消費動向などを勘案し、3万7000トン（同5.4%減）と見通している。

表1 令和7砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		令和6砂糖年度 （実績）	令和7砂糖年度				合計	
			10月～12月 （実績）	1月～3月 （実績見込み）	4月～6月 （見通し）	7月～9月 （見通し）		
消費量	分蜜糖	1,747	457.7	399.2	445.8	447.2	1,750	
	含蜜糖	39	8.0	10.5	10.0	8.1	37	
	合計	1,785	465.7	409.7	455.8	455.4	1,787	
供給量	国内産糖	分蜜糖	683	337.3	255.9	39.6	—	633
		含蜜糖	11	1.5	6.3	0.7	—	9
		小計	694	338.8	262.2	40.3	—	641
	輸入糖	分蜜糖	1,114	296.3	173.3	348.4	327.7	1,146
		含蜜糖	7	1.5	2.4	1.9	0.8	7
		小計	1,120	297.8	175.7	350.3	328.5	1,152
	合計	分蜜糖	1,797	633.6	429.2	388.0	327.7	1,779
		含蜜糖	17	3.0	8.7	2.6	0.8	15
		小計	1,814	636.6	437.9	390.6	328.5	1,794
期末在庫		334	496.4	498.8	433.6	306.7	307	

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第3回）」

注1：分蜜糖は精糖ベースの数量、含蜜糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分蜜糖供給量は、機構売買数量である。

（2）砂糖の供給量

令和7砂糖年度の砂糖の供給量は、179万4000トン（前年度比1.1%減）と見通している。内訳を見ると、分蜜糖の供給量は177万9000トン（同

1.0%減）、含蜜糖は1万5000トン（同11.8%減）と見通している。

国内産糖（分蜜糖）の供給量は、てん菜糖については、令和7年産のてん菜の作付面積は4万7965

ヘクタールで、前年産と比較して1.8%（881ヘクタール）減少した。作柄については、4月下旬の天候不良による初期生育の遅れや、夏場の高温および一部で干ばつがあったことに加えて、9月以降も気温が高く経過したことなどから、根中糖分が低下するとともに、1ヘクタール当たりの収量は平年よりも多かった昨年を下回り、産糖量は49万1000トン（前年度比9.0%減）、供給量は49万1000トン（精製糖換算〈以下同じ〉。同9.0%減）と見通している。

甘しや糖については、令和7年産のサトウキビの収穫面積は2万3307ヘクタールと見込んでおり、前年産に比べ1.1%（257ヘクタール）増加した。作柄については、6月まで少雨傾向であったことや沖縄県の一部の島において台風8号の被害の影響があったものの、平年を上回る生育が見込まれ、産糖量は14万9000トン（前年度比0.9%減）、供給量は14万2000トン（同0.9%減）と見通している。

（3）加糖調製品の需給

令和7砂糖年度に加糖調製品の消費量は、輸入価格の下落傾向が一服し、依然として高い水準であることから、34万7000トン（前年度比4.4%減）と見通している（表2）。また、供給量は、消費量に見合った量が供給されると見通している。

表2 令和7砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	令和6砂糖年度 （実績）	令和7砂糖年度				合計
		10月-12月 （実績）	1月-3月 （実績見込み）	4月-6月 （見通し）	7月-9月 （見通し）	
消費量	363	88.5	85.1	82.5	91.1	347
供給量	363	88.5	85.1	82.5	91.1	347

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第3回）」

注1：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和7砂糖年度の消費量は、令和6砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

（4）異性化糖の需給

令和7砂糖年度の異性化糖の消費量は、近年の消費動向を踏まえ、78万トン（前年度比1.8%増）と見通している（表3）。また、供給量は、消費量に見合った量が供給されると見通している。

表3 令和7砂糖年度における異性化糖の需給見通し

（単位：千トン）

	令和6砂糖年度 （実績）	令和7砂糖年度				合計
		10月-12月 （実績）	1月-3月 （実績見込み）	4月-6月 （見通し）	7月-9月 （見通し）	
消費量	766	157.5	173.0	219.0	230.1	780
供給量	766	157.5	173.0	219.0	230.1	780

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第3回）」

注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

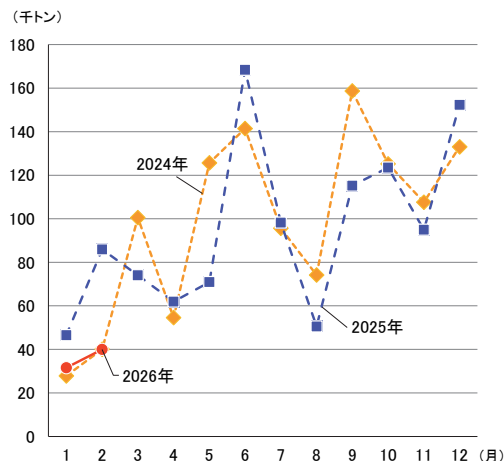
2 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

2月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2026年2月の甘しや糖・分蜜糖（HSコード1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州、以下同じ）の輸入量は、3万9957トン（前年同月比53.5%減、前月比26.5%増）であった（図1）。

図1 粗糖の輸入量の推移



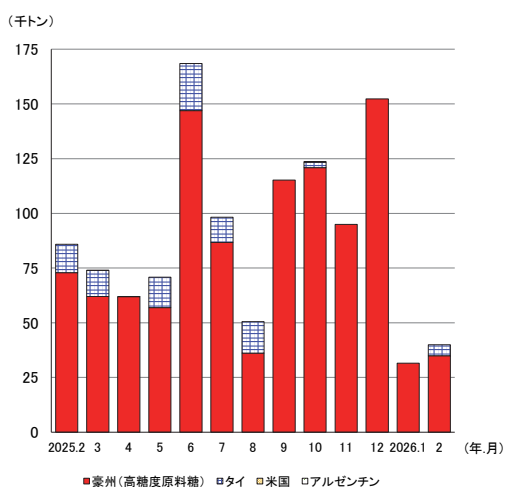
資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

輸入先については、甘しや糖・分蜜糖はタイ、甘しや糖・その他は豪州で、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図2）。

タイ 5015トン
 （前年同月比61.3%減、前月輸入実績なし）
 豪州 3万4942トン
 （同52.1%減、前月比10.7%増）

図2 粗糖の国・地域別輸入量の推移



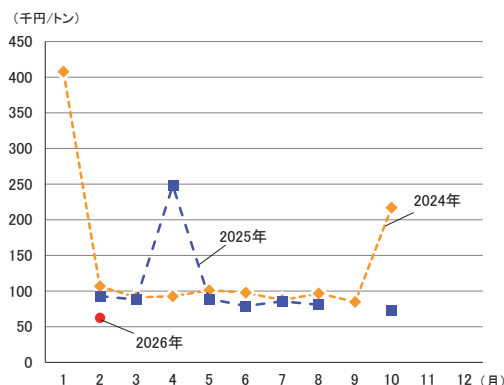
資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

2026年2月における1トン当たりの輸入価格は、甘しや糖・分蜜糖は6万2643円（前年同月比32.6%安、前月輸入実績なし）（図3）、甘しや糖・その他は、6万5147円（前年同月比27.7%安、前月比2.4%高）であった（図4）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

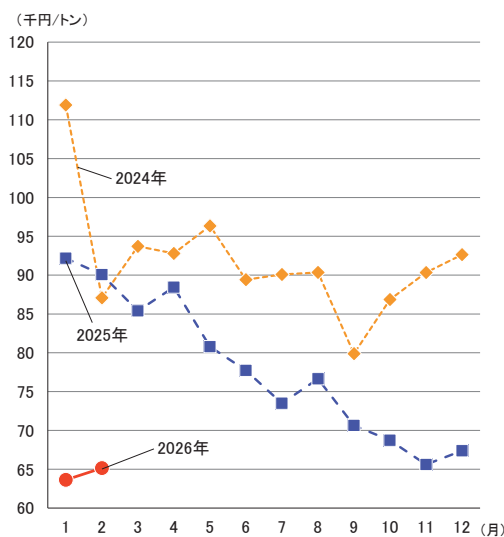
タイ 6万2643円
 （前年同月比32.6%安、前月輸入実績なし）
 豪州 6万5147円
 （同27.7%安、前月比2.4%高）

図3 粗糖（HSコード1701.14-110）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：2024年11月、12月、2025年1月、9月、11月、12月および2026年1月は輸入実績なし。

図4 高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

【含蜜糖の輸入動向】

2月の輸入量は前年同月から大幅に減少

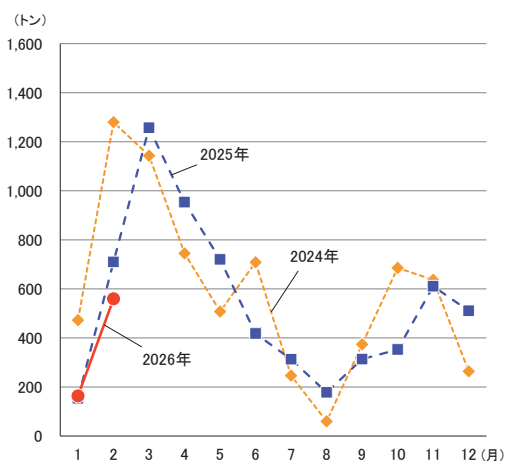
財務省「貿易統計」によると、2026年2月の含蜜糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、560トン（前年同月比21.1%減、前月比3.4倍）であった（図5）。

輸入先はタイ、中国、フィリピン、ポリビアおよび台湾で、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図6）。

タイ 306トン
 （前年同月比50.0%減、前月輸入実績なし）

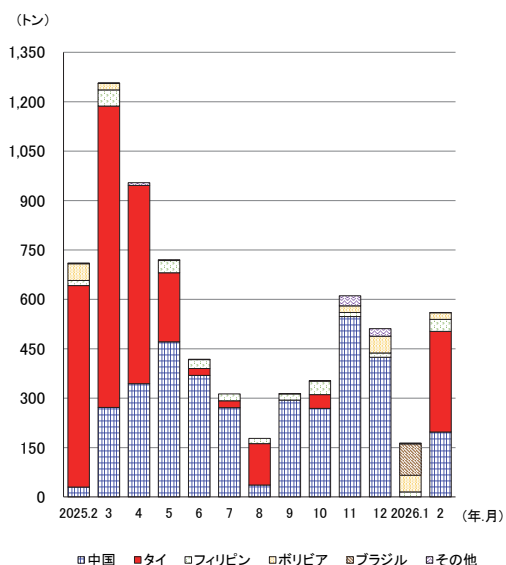
中国 197トン
 (同6.6倍、前月輸入実績なし)
 フィリピン 36トン
 (同2.4倍、前月比2.4倍)
 ポリビア 20トン
 (同60.8%減、同60.8%減)
 台湾 1トン
 (前年同月および前月輸入実績なし)

図5 含蜜糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図6 含蜜糖の国・地域別輸入量の推移



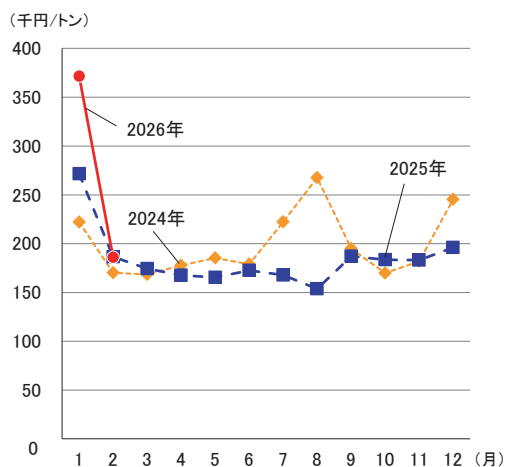
資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2026年2月の1トン当たりの輸入価格は、18万5988円（前年同月比0.2%安、前月比50.0%安）であった（図7）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 17万4840円
 (前年同月比0.1%高、前月輸入実績なし)
 中国 17万766円
 (同42.1%安、前月輸入実績なし)
 フィリピン 33万7444円
 (同6.2%高、前月比20.8%安)
 ポリビア 22万7100円
 (同10.6%高、同13.7%高)
 台湾 32万1000円
 (前年同月および前月輸入実績なし)

図7 含蜜糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

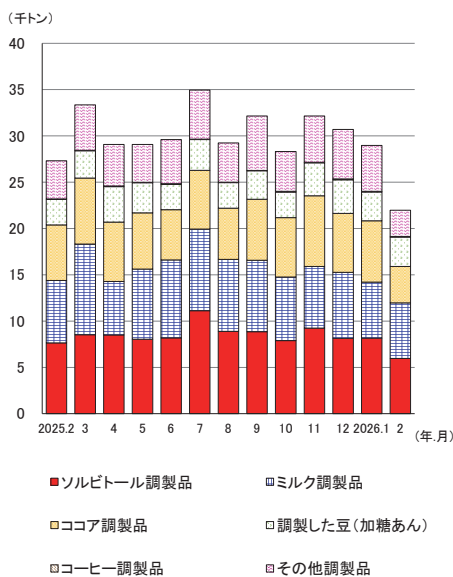
【加糖調製品の輸入動向】

2月の加糖調製品の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2026年2月の加糖調製品の輸入量は、2万1980トン（前年同月比19.5%減、前月比24.2%減）であった（図8）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図8 加糖調製品の品目別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：各品目のHSコードは、次の通り。
 ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213
 コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246
 調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199
 ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284
 ソルビトール調製品：2106.90-510
 その他調製品：2008.99-269、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品 品目別輸入量（2月）

（単位：トン）

区分	輸入量	前年同月比 (増減比)	前月比 (増減比)
ミルク調製品	6,005	▲ 11.0%	▲ 0.8%
ソルビトール調製品	5,963	▲ 21.9%	▲ 26.9%
ココア調製品	3,931	▲ 34.5%	▲ 40.7%
調製した豆（加糖あん）	3,172	14.4%	2.3%
コーヒー調製品	77	199.6%	▲ 7.8%
その他調製品	2,832	▲ 31.4%	▲ 42.9%
合計	21,980	▲ 19.5%	▲ 24.2%

資料：財務省「貿易統計」
 注：端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 異性化糖の移出動向

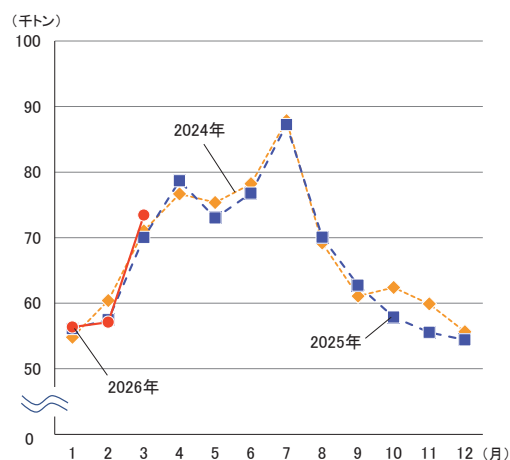
3月の移出量は前年同月からやや増加

2026年3月の異性化糖の移出量は、7万3443トン（前年同月比4.9%増、前月比28.6%増）であった（図9）。

同月の種類別の移出量は、次の通りであった（図10）。

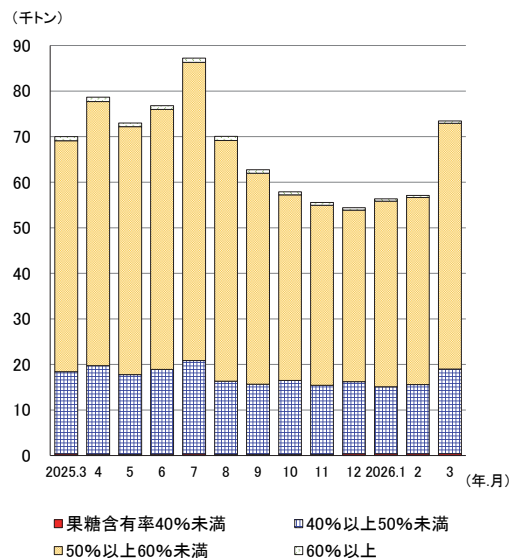
果糖含有率40%未満 400トン
 （前年同月比19.8%増、前月比4.8%増）
 同40%以上50%未満 1万8612トン
 （同3.0%増、同22.4%増）
 同50%以上60%未満 5万3902トン
 （同6.3%増、同31.3%増）
 同60%以上 528トン
 （同41.9%減、同13.8%増）

図9 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図10 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4 価格動向

【市場価格】

砂糖・異性化糖ともに前月と同水準で推移

3月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり241～243円

大阪 同241～243円

名古屋 同244円

関門 同246円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり261～265円

大阪 同264～265円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり246～248円

大阪 同246～248円

名古屋 同249円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり244～246円

大阪 同244～246円

名古屋 同245円

3月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり171～172円

果糖分55%もの 同177～178円

【小売価格】

3月上白糖小袋の平均小売価格は270.6円

マーチャンドライジング・オンRDSPOS（〈全国

3800店舗〉、以下同じ）によると、スーパーにおける3月上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、270.6円（前年同月差0.7円高、前月差2.1円高）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かったのは関東などであった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（3月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前月価格差	前年同月価格差
北海道	326.8	5.8	37.6
東北	282.1	0.7	▲1.5
関東など	250.7	0.4	▲1.8
首都圏	276.5	13.7	0.0
中部	268.2	▲1.2	0.0
関西	259.6	▲0.4	3.4
中国・四国	288.2	0.7	5.4
九州・沖縄	278.1	▲0.6	1.6

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDSPOS〈全国3800店舗〉）

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における現時点の価格差である。

3月のグラニュー糖小袋の平均小売価格は333.1円

スーパーにおける3月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、333.1円（前年同月差6.5円高、前月差2.7円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かったのは関西であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（3月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前月価格差	前年同月価格差
北海道	344.0	6.7	26.6
東北	359.2	2.6	0.8
関東など	324.9	3.3	2.5
首都圏	333.8	8.0	8.3
中部	348.9	1.3	▲ 2.8
関西	307.6	0.1	12.0
中国・四国	337.0	0.8	13.3
九州・沖縄	335.1	0.3	4.4

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDSPOS（全国3800店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における現時点の価格差である。

3月の三温糖小袋の平均小売価格は307.6円

スーパーにおける3月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、307.6円（前年同月差0.3円安、前月差1.1円安）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かったのは首都圏であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（3月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前月価格差	前年同月価格差
北海道	366.0	▲ 1.5	0.1
東北	339.0	▲ 1.7	▲ 0.8
関東など	293.5	▲ 2.5	▲ 0.2
首都圏	289.1	1.6	▲ 2.3
中部	321.1	▲ 4.6	▲ 10.2
関西	295.2	▲ 2.2	6.9
中国・四国	335.4	1.7	1.6
九州・沖縄	301.4	▲ 0.9	4.4

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDSPOS（全国3800店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

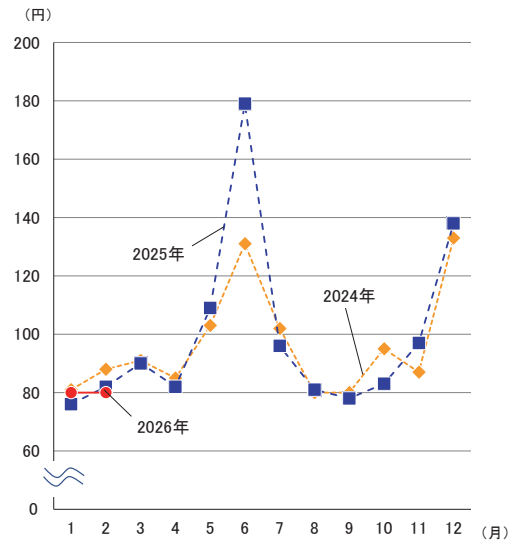
注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における現時点の価格差である。

【支出金額および購入数量】

2月の砂糖の支出金額は前年同月からわずかに下落

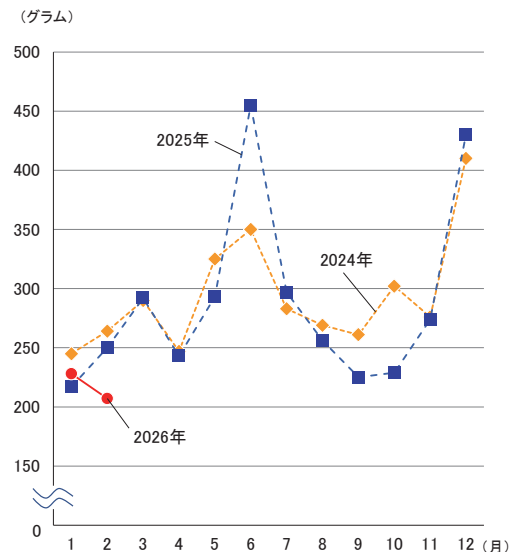
総務省「家計調査」によると、2026年2月における1世帯（二人以上）当たりの支出金額は80円（前年同月比2.4%安、前月同）であった（図11）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、207グラム（同17.2%減、同9.2%減）であった（図12）。

図11 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図12 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」